

1 事業所の職業訓練に係る意識等について

①従業員に対する教育訓練の実施(事業所 N=417) (P3)

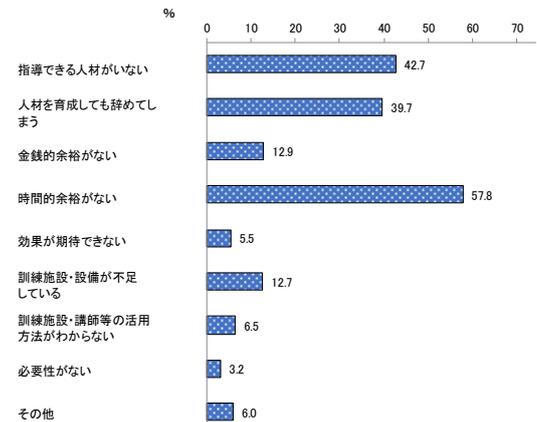
- ・従業員に対する訓練を実施している事業所は76.3%となっている。

※H27 ニーズ調査では、
訓練実施事業所 72.5%

②人材育成における問題点(事業所、従業員に質問)(事業所 N=403、従業員 N=915) (P17、18)

- ・事業所、従業員ともに「時間的余裕がない(事業所 57.8%、従業員 60.4%)」、「指導的立場の人材、育成のための設備等の不足(事業所 42.7%、従業員 40.8%)」との回答が多かった。
- ・その他、事業所では、「人材を育成しても辞めてしまう(39.7%)」との回答も多かった。

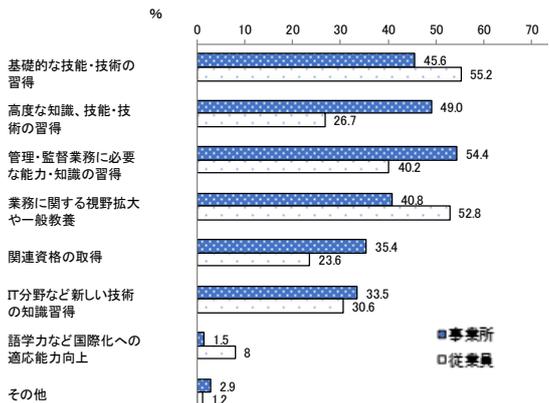
※H27 ニーズ調査では、「教育訓練を実施していない理由」としての設問に対して、「時間的余裕がない」とする回答が48.2%であった。



③今後重要になってくると思われる教育訓練(事業所 N=206、従業員 N=955) (P12)

- ・事業所回答では、「管理・監督業務に必要な能力・知識の習得(54.4%)」、「高度な知識、技能・技術の習得(49.0%)」
- ・従業員回答では、「基礎的な技術・技能の習得(55.2%)」、「業務に関する視野拡大や一般教養(52.8%)」

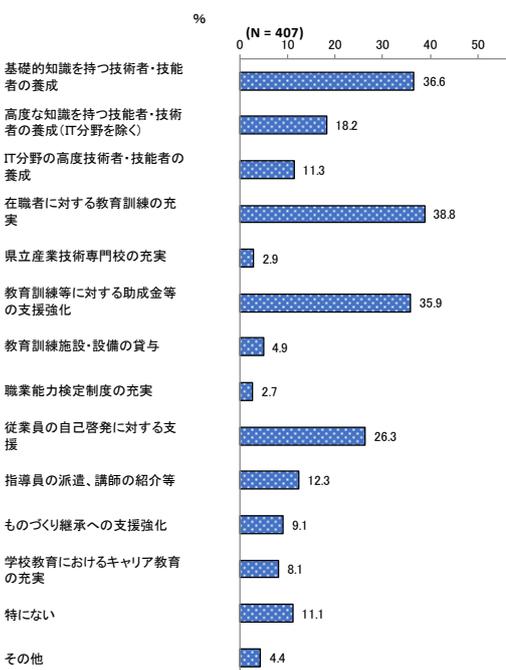
※H27 ニーズ調査では、回答が多い順に「高度な知識、技能・技術の習得(52.4%)」、「基礎的な知識、技能・技術の習得(51.4%)」、「管理・監督業務に必要な能力・知識の習得(45.8%)」であった。



④人材育成に関して行政に望むこと(上位3回答)(事業所 N=407) (P151)

- 「在職者に対する教育訓練の充実(38.8%)」
- 「基礎的知識を持つ技術者・技能者の養成(36.6%)」
- 「教育訓練等に対する助成金等の支援強化(35.9%)」

※H27 ニーズ調査(事業所)での上位3回答は、「基礎的知識を持つ技術者・技能者の養成(35.9%)」、「教育訓練等に対する助成金等の支援強化(32.0%)」、「在職者に対する教育訓練の充実(29.5%)」



2 高校生(2年生)及び短大(1年生)・大学生(3年生)の就労意識等について

①卒業後の県内就職希望の割合(大学生 N=401、高校生 N=816) (P34、50)

- ・大学生の卒業後の進路希望「宮崎県内で就職したい」が43.9%。
- ・高校生の県内就職希望は46.3%。
「是非、県内で働きたい(16.5%)」「できれば県内で働きたい(29.8%)」

※H27 ニーズ調査では、
大学生 35.4%
高校生 47.1%

②-1 県内で働きたい理由(高校生 N=375) (P51)

- 「自宅から通勤できるから(53.1%)」 「県外に出るのは不安だから(45.3%)」
- 「地元が好きだから(38.7%)」

②-2 県内で働きたい理由(大学生 N=174) (P51)

- 「自宅から通勤できるから(33.9%)」 「地元が好きだから(24.7%)」
- 「県内に働きたい企業・職種があるから(11.5%)」

③-1 県外で働きたい(県内で働きたくない)理由(高校生 N=437) (P53)

- 「県外で生活したいから(65.9%)」 「県外の方が給料など条件が良さそうだから(47.8%)」
- 「県内には働きたい企業・業種が少ないから(38.0%)」

③-2 高校進路指導からみた生徒が県外へ就職を希望する理由(N=33) (P54)

- 「生徒本人が県外での生活を希望しているため(72.7%)」
- 「生徒が就職を希望する企業・職種が県内に少ない(ない)ため(57.6%)」
- 「県外企業の方が、給料・福利厚生等の待遇が良いため(45.5%)」

③-3 専修学校等からみた県外へ就職を希望する理由(N=11) (専修学校 P55)

- 「学生本人が県外での生活を希望しているため(72.7%)」
- 「県外企業の方が、給料・福利厚生等の待遇が良いため(54.5%)」
- 「学生が就職を希望する企業・職種が県内に少ない(ない)ため(45.5%)」

③-4 県外で働きたい理由(短大生・大学生 N=141) (P52)

- 「出身地で就職した(33.3%)」 ※県外出身大学生
- 「県内には働きたい企業・業種が少ないから(12.8%)」

3 障がい者の雇用等について

①障がい者雇用実績の有無(過去の雇用実績も含む)(事業所 N=171) (P63)

| | 今回(%) | 前回(%) | 増減(%) |
|--------------------------|-------|-------|-------|
| 現在雇用している | 47.9 | 27.2 | 20.7↑ |
| 現在は雇用していないが、過去に雇用したことがある | 15.4 | 13.1 | 2.3↑ |
| 雇用したことはない | 36.7 | 59.7 | 23.0↓ |

②障がい者雇用の理由(各区分該当するものを3つ回答)(P66)

～身体障がい者(事業所 N=133)～

「ふさわしい能力を持っていたから(58.6%)」「人材不足を補えるから(42.1%)」

～知的障がい者(事業所 N=60)～

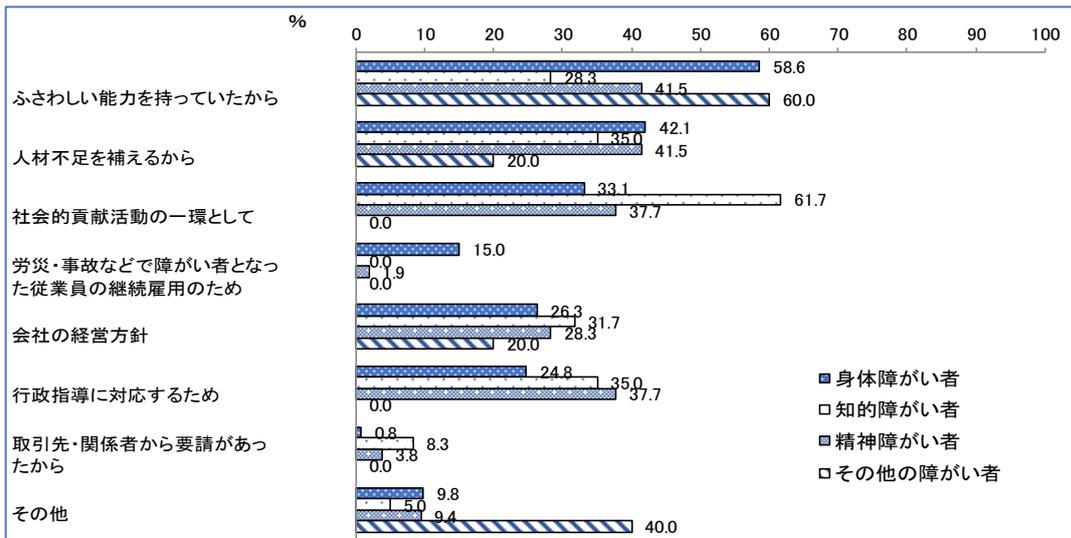
「社会的貢献活動の一環として(61.7%)」「人材不足を補えるから(35.0%)」

～精神障がい者(事業所 N=53)～

「ふさわしい能力を持っていたから(41.5%)」「人材不足を補えるから(41.5%)」

～その他の障がい者(事業所 N=5)～

「ふさわしい能力を持っていたから(60.0%)」「その他(40.0%)」



③採用した障がい者に対して求める能力等(事業所複数回答)(P67)

～身体障がい者(事業所 N=130)～

「社会生活への適応能力(54.6%)」「コミュニケーション能力(53.1%)」

～知的障がい者(事業所 N=63)～

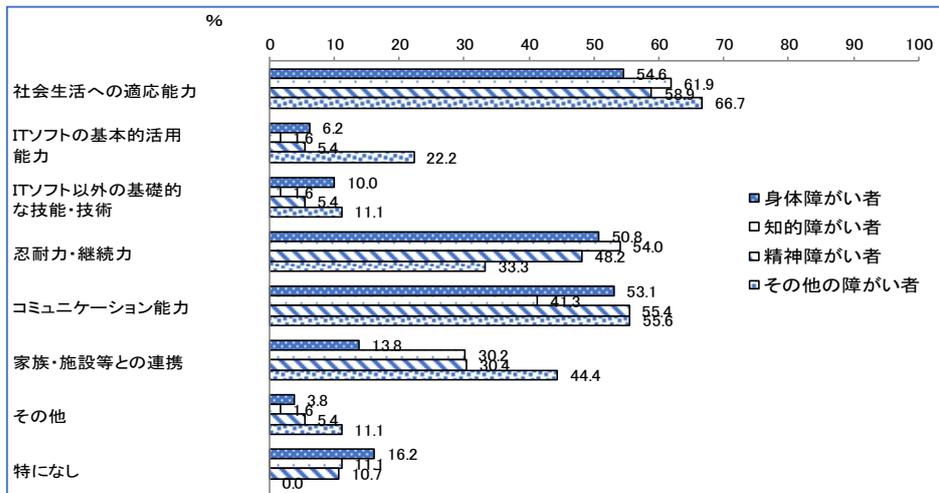
「社会生活への適応能力(61.9%)」「忍耐力・継続力(54.0%)」

～精神障がい者(事業所 N=56)～

「社会生活への適応能力(58.9%)」「コミュニケーション能力(55.4%)」

～その他の障がい者(事業所 N=9)～

「社会生活への適応能力(66.7%)」「コミュニケーション能力(55.6%)」



4 県内の職業能力開発施設に期待すること

①県立産業技術専門学校(事業所 N=376)

「労働者向けの技術・技能向上のための訓練の充実(29.3%)」「訓練内容の充実(26.6%)」

②県立産業技術専門学校高鍋校(事業所 N=363)

「労働者向けの技術・技能向上のための訓練の充実(25.1%)」「訓練内容の充実(24.2%)」

③ポリテクセンター(事業所 N=369)

「労働者向けの技術・技能向上のための訓練の充実(41.5%)」「訓練内容の充実(20.3%)」

④県職業能力開発協会(事業所 N=369)

「各種研修・講座の充実(29.5%)」「職業能力評価試験の充実(18.4%)」

⑤認定訓練校(事業所 N=372)

「企業ニーズに応じた弾力的な訓練科の設置(19.4%)」「職業訓練に関する情報及び資料の提供(19.4%)」

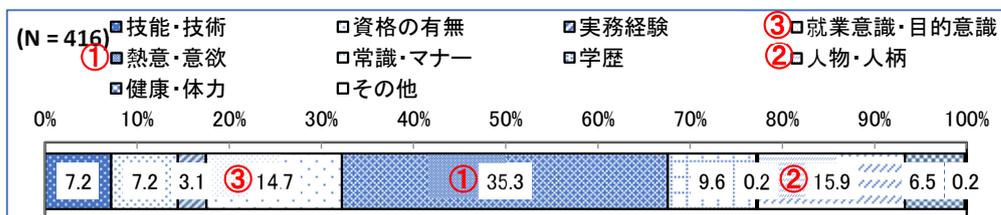
※複数回答可。「特になし」の回答も①～⑤ともに40%程度あった。

5 企業が求める人材について

①事業所が従業員に対して重視する能力 ～若年者(30歳未満)(P140)～

※H27調査では、「熱意・意欲(23.9%)」「常識・マナー(18.2%)」
「就業意識・目的意識(15.5%)」

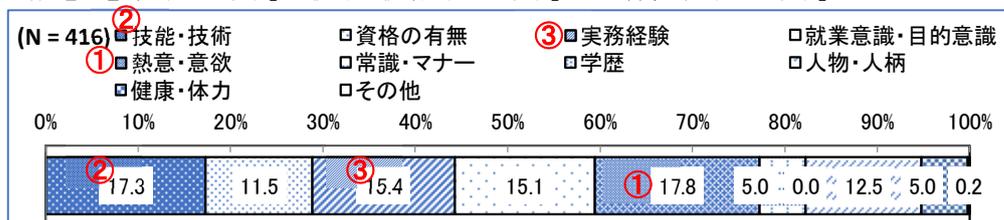
「熱意・意欲(35.3%)」「人物・人柄(15.9%)」「就業意識・目的意識(14.7%)」



～中堅従業員(30～40代)(P141)～

※H27調査では、「技能・技術(22.4%)」「熱意・意欲(23.9%)」
「人物・人柄(13.1%)」

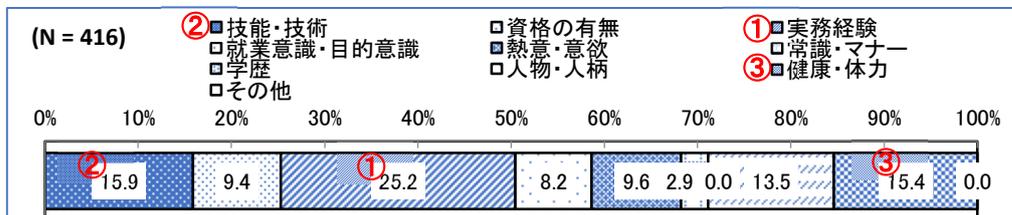
「熱意・意欲(17.8%)」「技能・技術(17.3%)」「実務経験(15.4%)」



～高齢者等(50歳以上)(P142)～

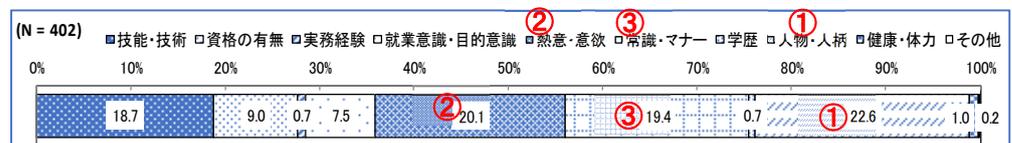
※H27調査では、「技能・技術(19.2%)」「実務経験(17.2%)」
「人物・人柄(15.7%)」

「実務経験(25.2%)」「技能・技術(15.9%)」「健康・体力(15.4%)」



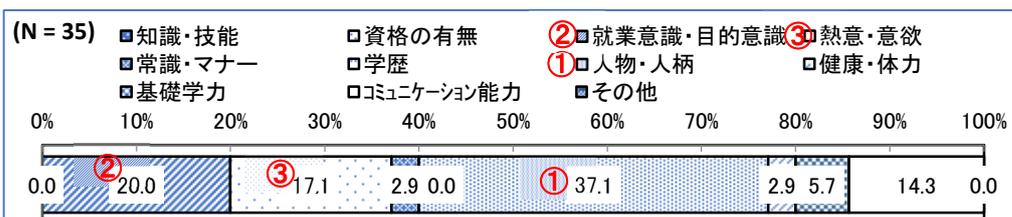
～大学生・短大生が考える「企業が重視する能力」(P145)～

「人物・人柄(22.6%)」「熱意・意欲(20.1%)」「常識・マナー(19.4%)」



～高校進路指導からみた「企業が重視する能力」(P146)～

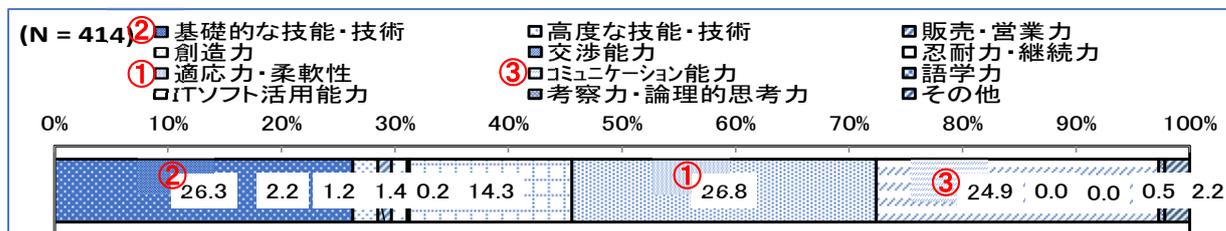
「人物・人柄(37.1%)」「就業意識・目的意識(20.0%)」「熱意・意欲(17.1%)」



②事業所が新たな人材に対し重視する能力(1~3位を選択。うち1位で選択された上位3つ)
(P143、136、148)

～事業所側が重視する能力(N=414)～

「適応力・柔軟性(26.8%)」「基礎的な技能・技術(26.3%)」「コミュニケーション能力(24.9%)」



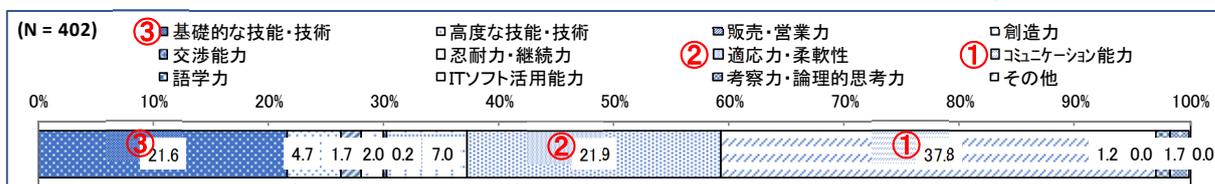
～従業員が新入社員に求める能力(N=959)～

「コミュニケーション能力(34.0%)」「基礎的な技能・技術(24.9%)」「適応力・柔軟性(21.2%)」



～大学生・短大生が考える「企業が採用の際に重視する能力」(N=402)～

「コミュニケーション能力(37.8%)」「基礎的な技能・技術(21.6%)」「適応力・柔軟性(21.9%)」



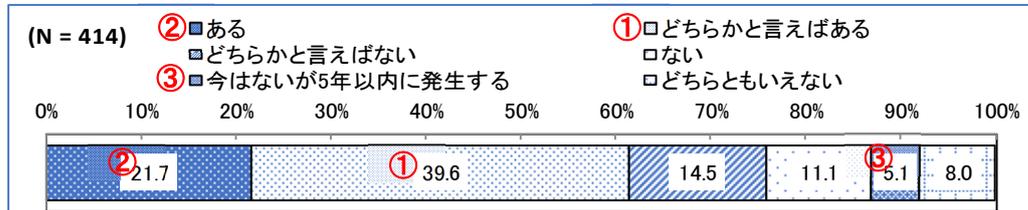
※H27調査では、「コミュニケーション能力(48.0%)」「適応力・柔軟性(18.3%)」「基礎的な技術(15.2%)」

6 技能継承に向けた取組について

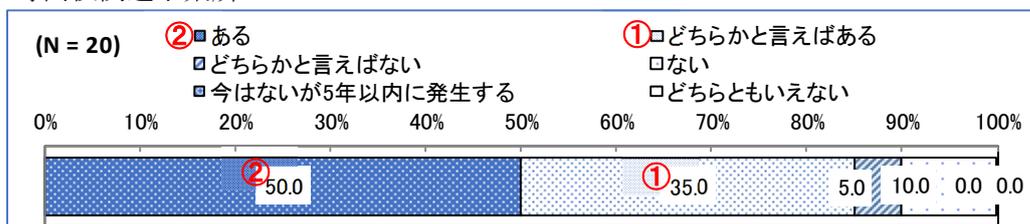
①継承における問題の有無 (P31)

「ある」「どちらかと言えばある」「5年以内に発生する」を併せると事業所の66.4%、専門校関連事業所の85.0%が継承に課題を感じている。

～事業所～



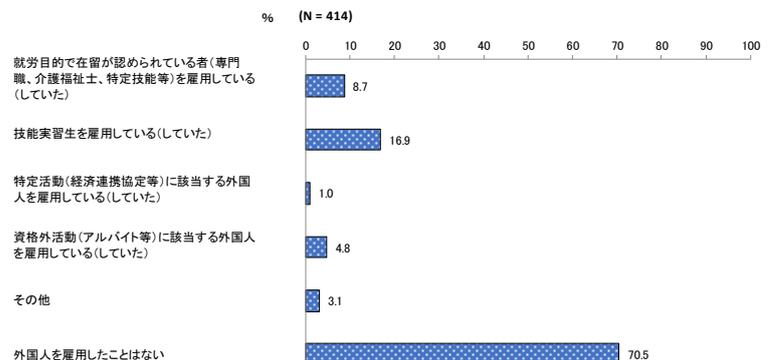
～専門校関連事業所～



7 外国人の雇用について

①外国人雇用経験の有無

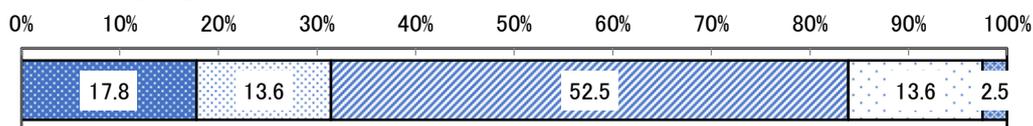
- 「雇用したことがない」が70.3%で最も多く、次いで「技能実習生(16.9%)」となっている。



②外国人雇用後の変化

- (N = 118)
- 技術力や生産性が向上した
 - 人手不足が解消された
 - その他

- 異文化への理解が深まった
- 言語や文化の違いに課題があった



③今後の外国人の雇用予定

- (N = 265)
- 雇用したい(継続も含む)

- 雇用する予定はない

